

マルチメディア資料集 「高崎歴史探検隊」の作成

— 地域に残る史跡・文化財に着目して —

情報教育・ICT活用班 木村 達也（小学校教諭）

主題設定の理由

歴史の学習における6年生児童の実態
体験や見学ができないことがある。
学習内容と地域の歴史とのかかわりに気付かない。



見学や調べ学習をしたいけど...
文化財がどこにあるかわからない。
調べやすい資料が少ない。

「高崎歴史探検隊」の概要

Web形式の教材で、繰り返し使える

3つの検索方法で調べることができる

文化財の場所を見つけやすい

静止画、動画が見られる



人物・事件から探す

地域から探す

時代から探す



必要なページが印刷できる



調べたい方法
で探せる！

<静止画>

画像の切り替えやスライドショーで
様子を分かりやすく伝える。



<動画>

文化財のイメージを
膨らませる。

授業で活用

見学の計画作りや事前調査で活用



いつも見ていた石碑のことだ！
おばあちゃんちの近くだ。行ってみよう！
これって、文化財なんだね。

解説を見て、事前の
調査をする。

地図を見て、場所の
確認をする。

まとめの活動で写真
や地図を活用する。

調べ学習・見学で活用

年表を見て、日本の
歴史と比較する。

調べ学習で解説を
参考にする。

平城京が作られた1年後に、作られた
18個しかない石碑の3つが高崎にある
京からの命令で合べいしなさいという手紙を
もらったのを石に写した
もっと京とのつながりを知りたい！

（児童ワークシートから）

地域と日本の歴史とのかかわりを
考え、学習内容がより深まる。

成果

普段見ていたものが歴史上大切なものであるということに
気づき、**地域の文化財に対する興味・関心**
が高まった。
日本の歴史と地域の歴史とのかかわりに**気付く**
児童も出てきた。

課題

取り上げる文化財をさらに増やし、資料の充実を図る。

より分かりやすい表現の工夫や動画を整備し、さらに
使いやすいように教材を改善する。